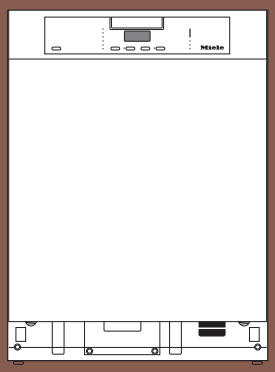
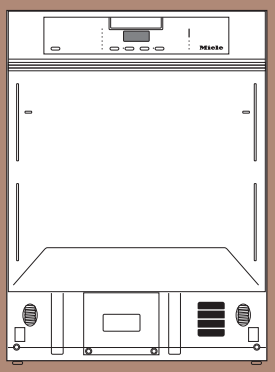
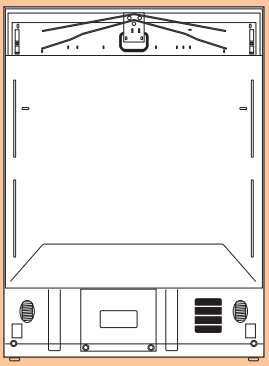
Miele

G4000/G5000シリーズ 食器洗い機 設置・施工手順書

取付編

本体横幅	標準ドア装備 	ドア面材取付専用 	オールドア（全面）面材取付専用 
45cm	G 4500 SCu G 4600 SCu	G 4500 SCi G 4600 SCi	G 4570 SCVi
60cm	G 5100 SCu G 5500 SCu	G 5100 SCi G 5500 SCi G 5910 SCi	G 5170 SCVi G 5570 SCVi

ミーレ・ジャパン株式会社

特定保守製品に関するお願い

● 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。

特定保守製品とは「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品、および使用状況からみてその適切な保守を促進することが適切なもの」として指定された製品です。

●付属の説明書と所有者票は、必ず特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）にお渡しください。

●消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者）に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

- **本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。**
- **設置・施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。**

お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガのおそれがあります。
据付設置は、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。

1 安全上のご注意

本手順書では、次のマークの箇所で人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。		お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。	
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。		してはいけない内容です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。		実行しなければならない内容です。

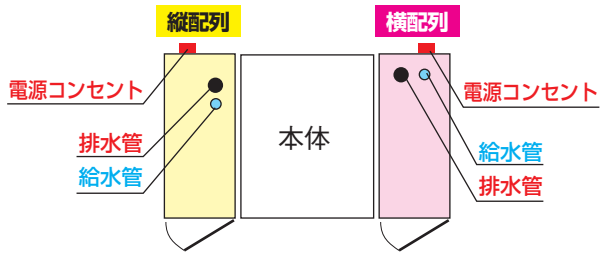
2 設置上の注意（所要設備・電源）

水道水圧：作動水圧1.0～10kg/cm²（0.1MPa～1MPa）の範囲かをご確認ください。

本製品は全てポンプによる強制排水方式です。排水管は必ず200mm以上立ち上げてください。

給水管は電磁弁付給水ホースを上向きに取り付けるため、床もしくは直下の装置・造作等から300mm以上を確保して下さい。

電源、給・排水設備は隣接する場所に設けてください。
（左右いずれか・縦/横配列いずれか）



左右いずれかの隣接キャビネット内

給水バルブはユーザーが容易に操作できる位置・向きに取り付けてください。

横枝排水管に至るまでの接続部は耐熱塩ビを使用してください。（HT40相当）
取付には耐熱性接着剤、耐熱マスキングテープを使用して下さい。

設置床面は水平・平坦にし、後で本体を手前にひきだせるようにしておいてください。（段差をつけないでください。）

本体の金属部分が、家屋の金属板や流し台のステンレス板に電気的に接触しないようにしてください。漏電した場合、火災の原因になります。
（法令：電気設備の技術基準第167条・平成13年）

給・排水工事はすべて水道法、建築基準法、および貴都市の条例、規定に準じて行ってください。

電源：単相200V　専用コンセント アース付
パナソニック WKS294（露出型）
パナソニック WTF19324WK（埋込型）
コ 相当品

※D種接地工事を必ず行ってください。

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器を必ず取り付けてください。（法令で規定）

本製品はいずれも家庭用機器です。業務用には使用しないでください。

電源コードを切断、および直結することは絶対にしないでください。電源コンセントはそれぞれの機器に単独で、専用に設けてください。

本製品は寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れがある場所（室温0℃以下）には設置しないでください。

水場や浴室など、湿気の多い場所に設置しないでください。（感電・火災のおそれ）

直射日光が当たる場所、窓や換気扇のない場所に設置しないでください。

ーお願いー

45℃から 60℃に温度を保つことのできる温水設備の場合、給湯での接続も可能ですが、汚れ落ちや水圧等の点から、給水での接続をおすすめします。

**本製品は「消防法 告示第一号（対象火気設備等及び火気器具等離隔距離に関する基準）に適合しております。
建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。**

消防法　基準適合　組込形			
可燃物からの離隔距離(mm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	（開放）	10

3 部材・付属品・工具　一覧

機種により梱包されている部材が異なります。設置・施工前に部品の確認をしてください。

■同梱されている部材・付属品

部品名 姿　図 個　数	1 Ⓐ プリンスパネル取付金具 ×2	2 Ⓐ プリンスパネル固定用ビス	3 Ⓐ 目隠しキャップ（黒） ×2	4 プリンスパネル	5 ⒶⒷⒸ 本体固定金具（1個）	6 ⒶⒷⒸ 本体固定用ネジ（1本）	7 ⒶⒷⒸ サイドパネルビス ×4	8 ⒶⒷⒸ サイドパネルビス目隠しキャップ ×4	9 ワークトップカウンター保護板	10 ⒶⒷⒸ カウンター保護板用クギ	11 ⒶⒷⒸ コーキング剤	12 フィラー（飾り板） ※取付済
G4500SCu G4600SCu G5100SCu G5500SCu	○	○	○	○	○	○	○	○	○ LED反射板なし	○	○	×
G4500SCi G4600SCi G5100SCi G5500SCi G5910SCi	○	○	○	○	○	○	○	○	○ G5910SCiのみLED反射板付き	○	○	○
G4570SCVi G5170SCVi G5570SCVi	○	○	○	○	○	○	○	○	○ LED反射板付き	○	○	×

部品名 姿　図 個　数	13 ⒷⒸ ドア面材固定用ネジ ×4	14 ⒷⒸ ドア横目隠しキャップ ×4	15 ドア面材取付金具	16 ドア面材取付用スケール	17 ホースバンド	18 キャビネット開口部用隙間シール	19 排水管臭気どめパッキン	20 取扱説明書 機器保証書	21 洗剤・リンスサンプル一式	22 1／2”エルボ	23 特定保守製品説明書・所有者票（はがき） 個人情報保護シール	24 防震クッション
G4500SCu G4600SCu G5100SCu G5500SCu	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
G4500SCi G4600SCi G5100SCi G5500SCi G5910SCi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	G5910SCiのみ同梱
G4570SCVi G5170SCVi G5570SCVi	○ ×8本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

■別売部材　必要に応じて別途お求めください。（同梱部材ではありません）

	Ⓐ 各機種	Ⓑ SCiタイプ	Ⓒ SCViタイプ	アングル止水栓
部材番号	6399300	6069531	6166480	6800000

価　格
￥2,625（消費税含）

■使用する工具　別途ご用意ください。（同梱部材ではありません）

マイナスドライバー	トルクスドライバー（T20）	ドリル φ2.5mm	マーク用鉛筆	耐熱マスキングテープ	スケール	水準器	ハンマー	ホールカッター	のこぎり ※

※付属のプリンスパネルをカットする場合

4 設置手順1-1 本体の設置・固定

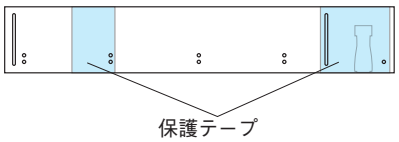
設置後、必ずP.10のチェックリストに沿って試運転を行ってください。水漏れや異常音、本体の傾きがないこと、正常に排水することをご確認ください。

1 ワークトップカウンター保護板の取付け

食洗機からの蒸気でキッチン天板が劣化するのを防ぎます。
（すべての機種に付属、LED反射板ありとなしのタイプがあります。）

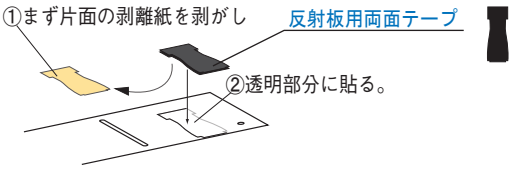
キッチン天板保護の役割に加えて、オールドア・フルフェイスタイプ（SCViシリーズ）には、運転行程などを示すLEDライトが見えるように、「LED反射板」が予め取り付けてあります（透明なプラスチックの部分）。この透明な反射板に黒色の両面テープを貼り、LEDを反射するミラーとなるように、取り付けて下さい。

❶



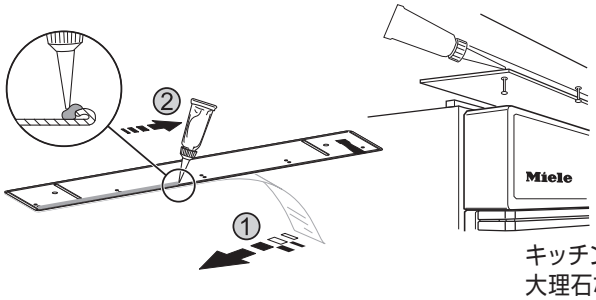
青色シート（全機種）、および反射板部分（ある場合）の保護テープを剥がします。

❷

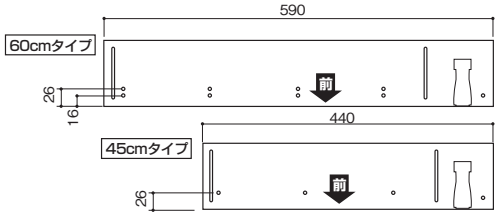


反射板用の両面テープ（黒）の剥離紙をはがし、反射板（透明なプラスチックの部分）裏に貼り付けます。これにより、反射板が鏡のようになります。（SCViのみ）

❸ カウンター保護板のクギ穴、カウンターとの隙間をコーキング剤で充てんします。（すべての機種）

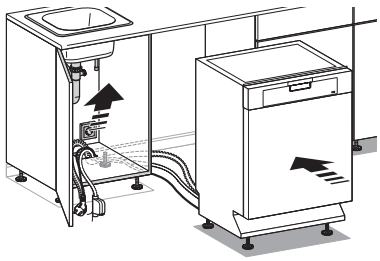


❹ ■カウンター保護板寸法図
※この図はSCVi用です。（LED反射板あり）



キッチンカウンター裏面に保護板をクギ（L=20mm）で固定します。人造大理石などのカウンターには接着剤等をご使用ください。（すべての機種）

2 ホース・コードの引き込み

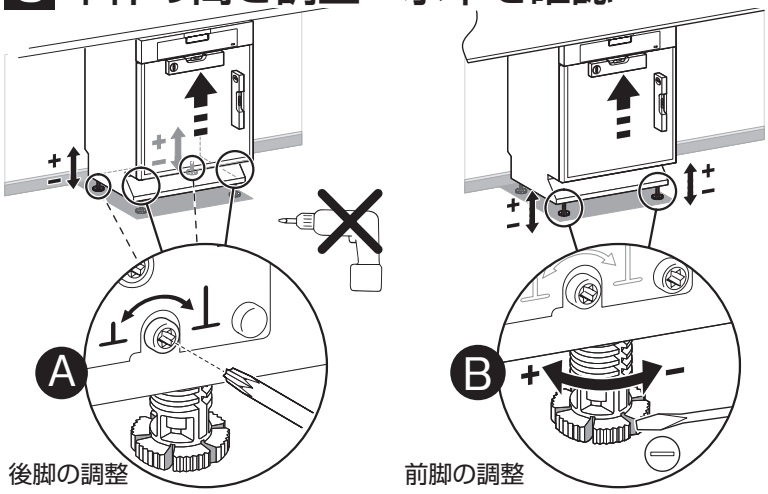


ホース・電源コードを引き込み、長穴に通しながら機器を押し込んでください。

※機器とキャビネットの間に、排水ホースをはさまないようにご注意ください。

- **給水・排水ホースは絶対に切断しないでください。**
- **給水ホースの折れ曲がりのないよう、必ず確認してください。水漏れの原因となります。**

3 本体の高さ調整・水平を確認



本体の前後4つのアジャスタ脚を開口部の高さに調節します。

Ⓐ 後脚は、左図のように左右2ヶ所のトルクスネジを回して調整します。

Ⓑ 前脚はマイナスドライバーで、右図のように直接脚を回して調節してください。

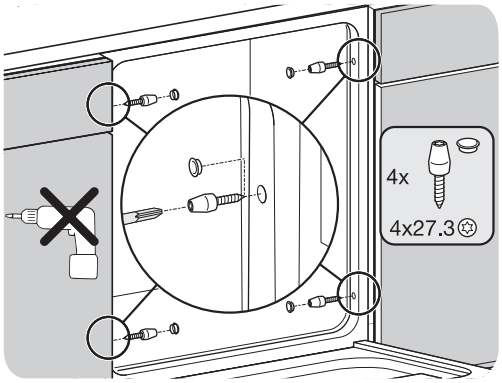
高さ調整の後も、水準器で床の水平レベルと、本体が傾いていないかを再度確認してください。

4 設置手順1-1 本体の設置・固定 つづき

4 本体の固定

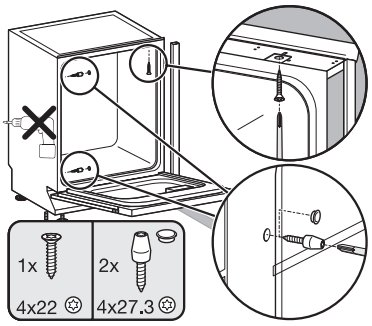
つぎの a ～ c のいずれかの方法で本体を固定してください。

a 上下・左右4ヵ所で固定



キャビネットに本体4ヶ所
〈側面の上下左右2ヶ所（4×27.3）〉
をビス留めしてください。

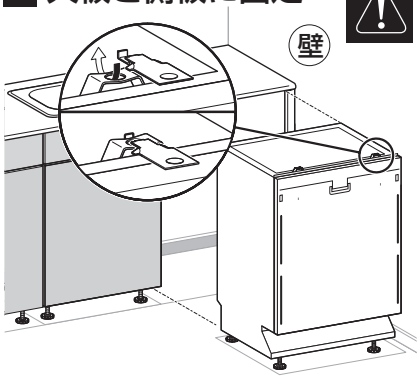
b コーナー2ヵ所と天板1ヵ所への固定



キャビネットに本体3ヶ所
〈側面上下2ヶ所（4×27.3）、
天板へ1ヶ所（4×22）〉
をビス留めしてください。

c 天板と側板に固定

あらかじめ天板固定金具を取り付けます。



どちらかの側板が壁などで固定できない場合、天板に固定するための本体固定金具を図の位置に差し込み、固定してください。

反対側は、通常通り2ヵ所ビス留めしてください。

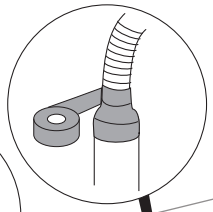
5 電源の接続

★この設備は代表的な方法です。現場に応じて給・排水管、コンセントの位置は変えてください。

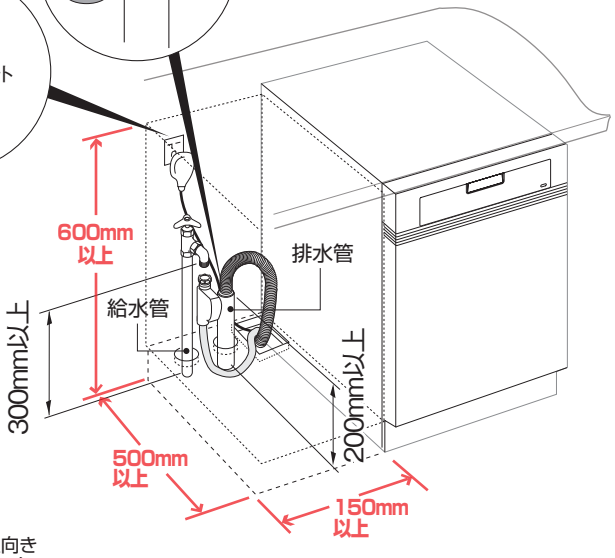
コードが下方向に出るよう、電源プラグを根元まで
コンセントに差し込みます。

露出型 パナソニック電工 WKS294 相当品

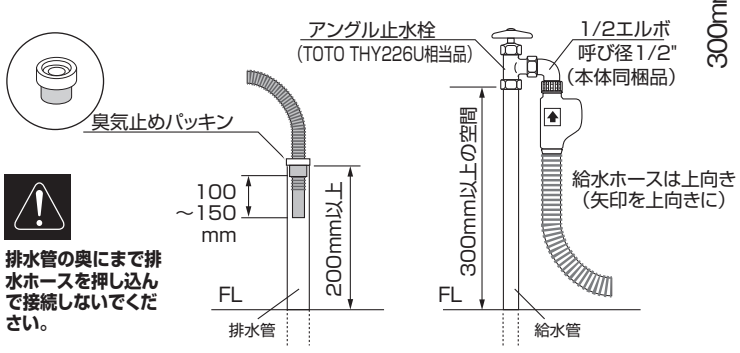
埋込型 パナソニック電工
コンセント WTF19324WK
プレート WTF7003W
相当品



排水ホースは抜けないように耐熱性のテープで固定してください。



6 給排水の接続・所要設備スペース



排水管の奥にまで排水ホースを押し込んで接続しないでください。

給・排水のパイプスペースは、幅150mm、奥行き500mm、高さ600mm以上を最小限確保してください。

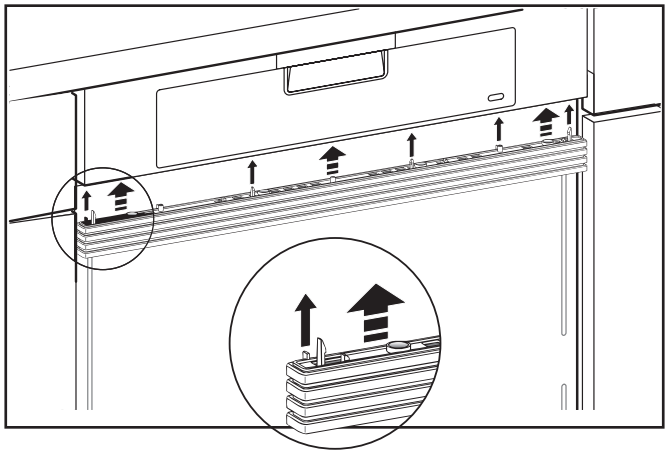
1／2"給水ホース及び排水ホースを上図のように止水栓と接続します。

4 設置手順 1-2

ドア面材の取付け （SCiシリーズに適用）

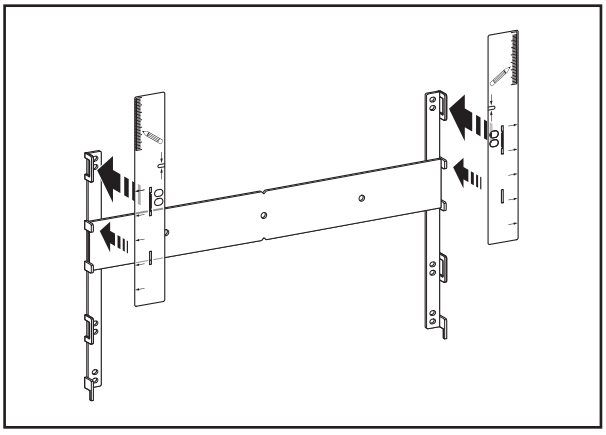
■フィラー（飾り板）の取付け

※必要ない場合は取り外してください。



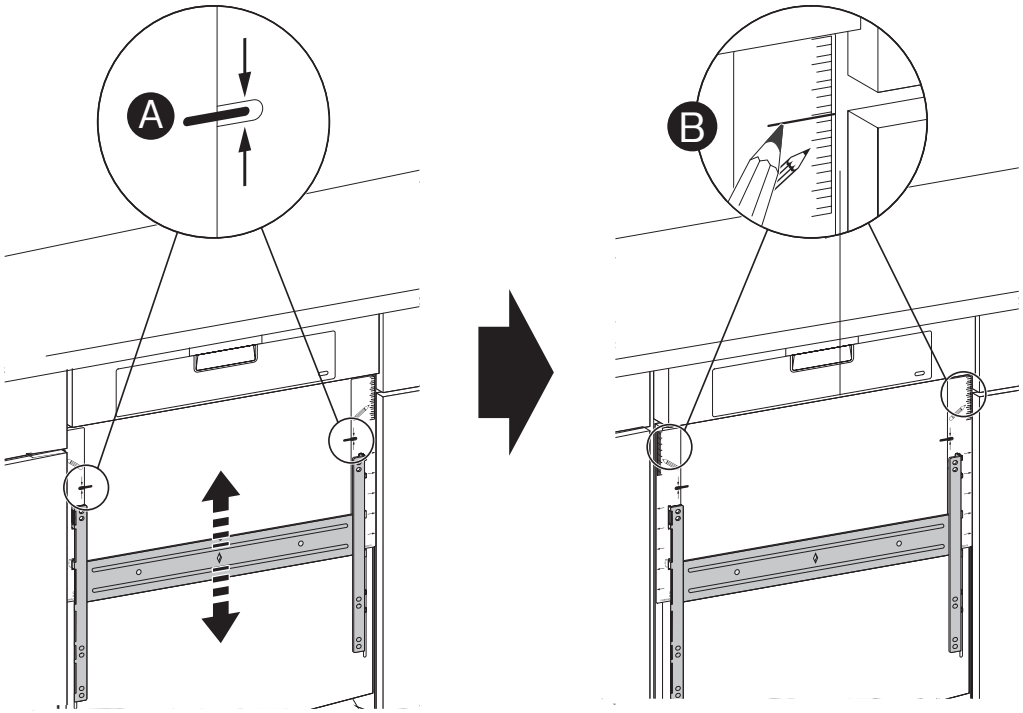
キッチンの引き出しラインなどと操作パネルの高さが合うように、フィラーを調整してください。フィラーは、4本の組合わせでできています。7~35mmの間で調節が可能です。
ステンレス仕様の場合、ボルト切断など加工するときは、カナノコ等の工具をご用意ください。

2 ドア面材スケールの取付け



ドア面材取付金具に付属のドア面材取付用スケールを取付けます。
ドア面材取付用スケールをドア面材取付金具のフックに差し込んでください。（矢印部分）

3 ドア面材取付金具（⊢）、取付位置をマーキング



ドア面材取付金具下側のフックを機械のドアのスリットに差し込み、ドア面材取付金具を上下させて

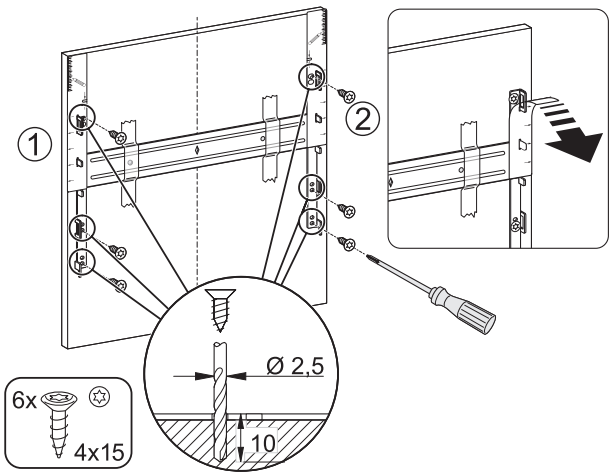
Ⓐ ドア面材取付用スケールのマーキングと、機器ドアのマーキング（長穴）を合わせます。

Ⓑ その後、ドア面材取付用スケール上に隣接するキッチンユニット上端の位置にマーキングします。

4 設置手順 1-2 （つづき）

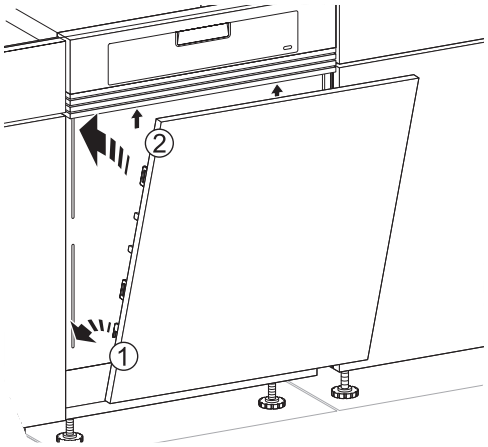
ドア面材の取付け （SCiシリーズに適用）

4 ドア面材取付金具の取付け



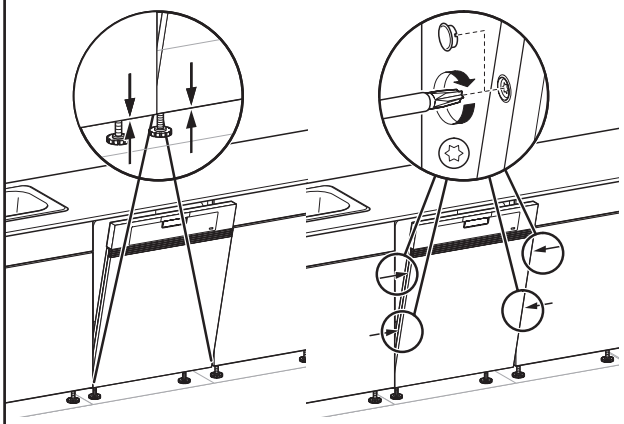
スケールにマークを用意したドア面材の上端に合わせ、金具の中央部分をテープで固定します。
金具の6ヶ所に下穴（φ2.5;深さ10mm）をあけ、タッピングネジ（4×15）で固定した後、スケールを取り外してください。

5 ドア面材の取付け



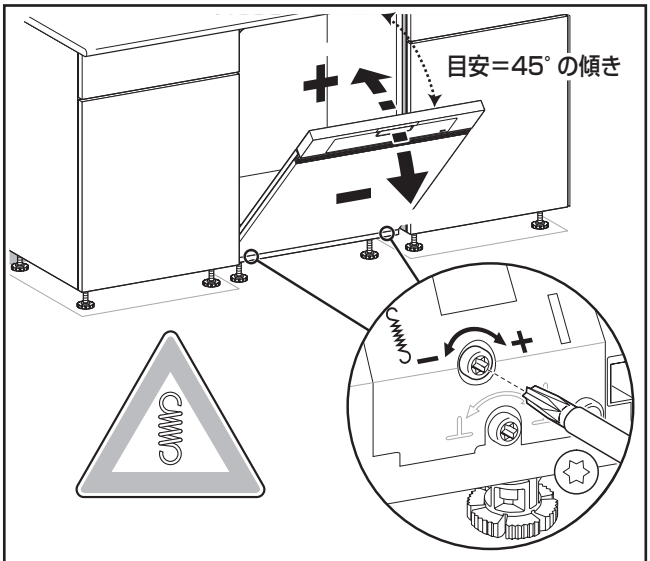
金具を取り付けたドア面材を、図のように、金具のフックを機械のスリットに差し込んで取り付けます。

6 ドア面材高さの調整と固定



キッチンのラインにドア材高さを合わせた後、本体ドア左右4ヶ所のトルクスネジを回して固定してください。

7 ドア開閉バランスの調整

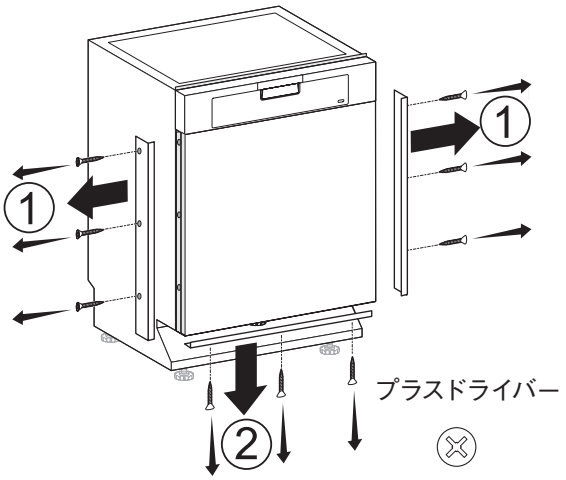


ドア面材の重さで急激にドアが開かないように、開閉バランスを調整します。
トルクスドライバーで、機械の下部左右2ヶ所にあるスプリング強度調整ネジを回して、ドアが中立する程度のバランスに調節してください。

4 設置手順 1-3

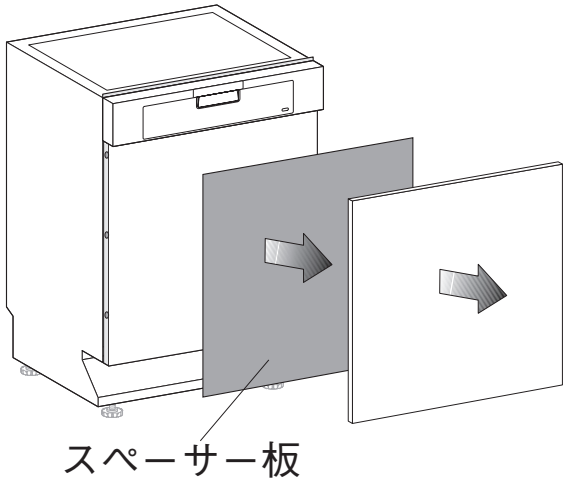
パネル面材の寸法、および取付け（SCiの製品にGDU取付けの場合に適用）

1 フレーム（3ヵ所）の取外し



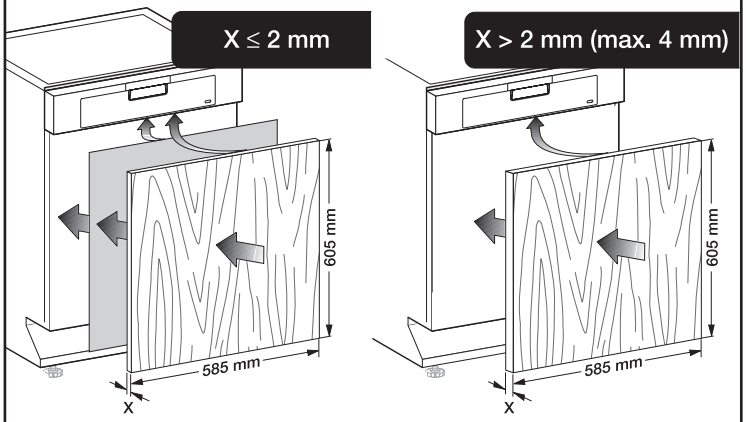
本体のパネルを固定しているフレームを左右2ヶ所、下部1ヶ所、取り外します。
（フレームは合計9ヵ所のビスで固定されています。）

2 パネルの取外し



本体にあらかじめ取り付けられているパネルとスペーサー板を取り外します。

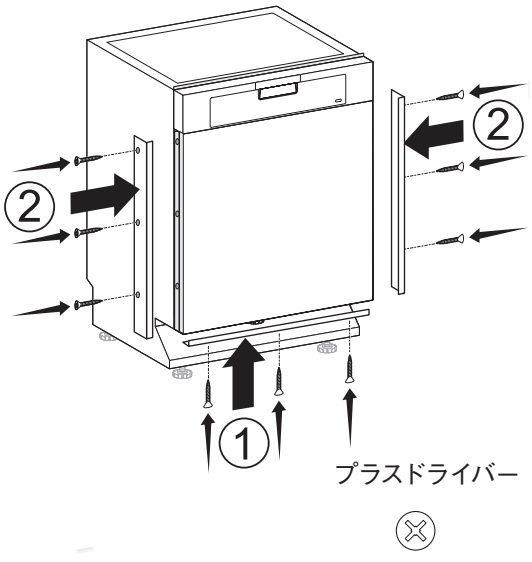
3 化粧パネル面材の準備



キッチンにコーディネートしたパネル面材をご用意ください。
厚さが2mm以下の場合、前に取外したスペーサー板を重ねて取付けます。
（2mm以上の場合は、スペーサー板なしで取付けることができます。）

※パネル面材寸法=H605×W585　厚さ1～4mm（60cmタイプ）
※パネル面材寸法=H605×W436　厚さ1～4mm（45cmタイプ）

4 パネル面材の取付け・固定

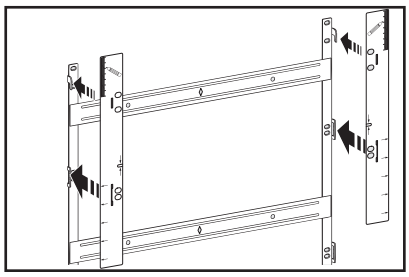


フレームを元通りに取り付け、プラスドライバーで9ヵ所固定して完了です。

4 設置手順 1-3

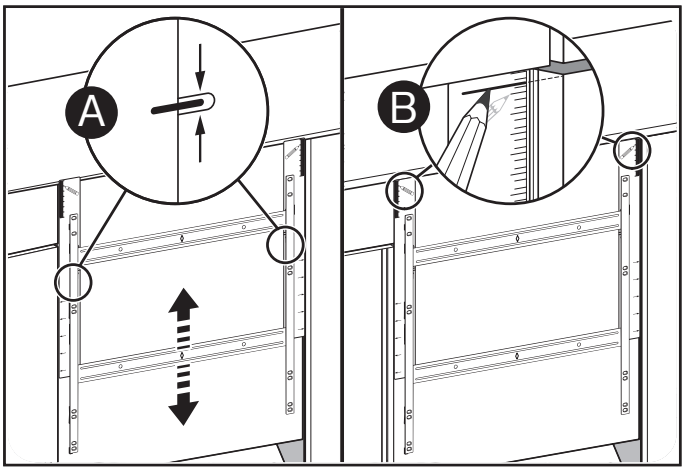
オールドア（フルフェイス）面材の取付け（SCViシリーズに適用）

1 ドア面材スケールの取付け



ドア面材取付金具に、付属のドア面材取付用スケールを取付けます。
ドア面材取付用スケールは、ドア面材取付金具のフックに差し込みます（矢印部分）

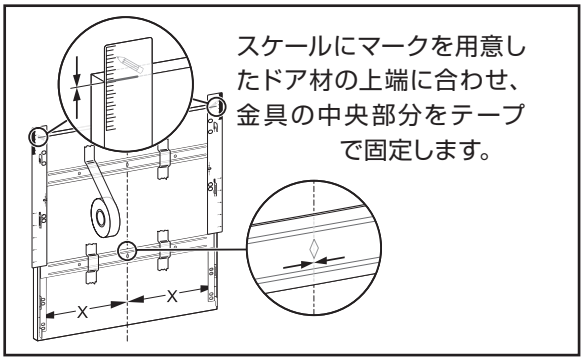
2 ドア面材取付金具（⊢）、取付位置をマーキング



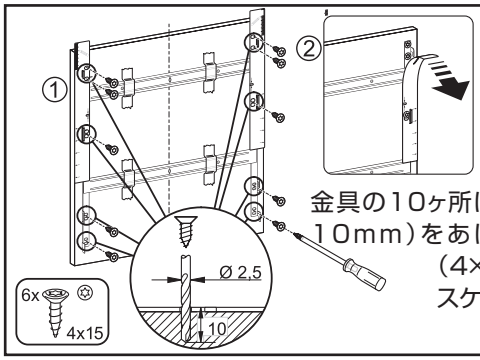
Ⓐ ドア面材取付金具下側のフックを機械のドアのスリットに差し込み、ドア面材取付金具を上下させ、ドア面材取付用スケールのマーキングと機器ドアのマーキング（長穴）を合わせます。

Ⓑ その後、ドア面材取付用スケール上に隣接するキッチンユニット上端の位置にマーキングします。

3 ドア面材取付金具（⊢）の取付け



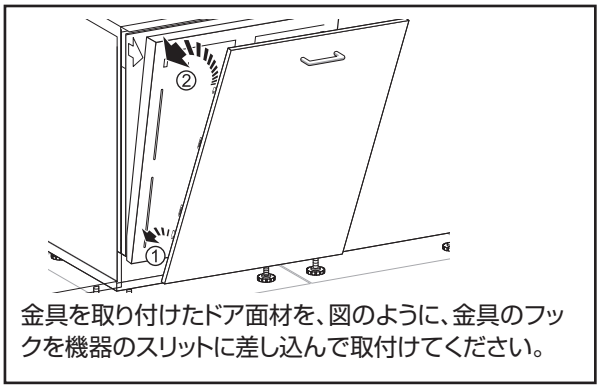
スケールにマークを用意したドア材の上端に合わせ、金具の中央部分をテープで固定します。



金具の10ヶ所に下穴（φ2.5;深さ10mm）をあけ、タッピングネジ（4×15）で固定した後、スケールを取外します。

4 ドア面材の取付け

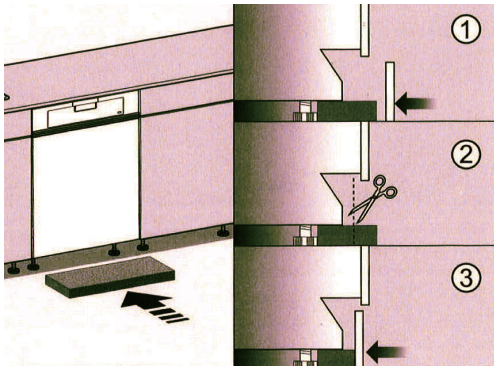
（※下図は、ハンドルを取り付けたドア面材の一例）



金具を取り付けたドア面材を、図のように、金具のフックを機器のスリットに差し込んで取付けてください。

防震クッションの取付け

（※G5910SCiのみ）



プリンスパネルの蹴込み深さに合わせてカットし、はめこんでください。

4 設置手順 2 巾木(プリンスパネル)の取付け

■巾木の寸法 (巾木のカット…通し巾木の場合)

本体高さ=810mm　　b mm

a mm	40	50	60	70	80	90	100
150(ドア材545mm)	124	124	128	/	/	/	/
140(ドア材555mm)	118	120	122	128	/	/	/
130(ドア材565mm)	112	112	114	118	124	/	/
120(ドア材575mm)	104	104	106	108	114	124	/
110(ドア材585mm)	98	98	98	102	108	114	122
100(ドア材595mm)	94	94	96	98	104	112	118
90 (ドア材605mm)	80	80	82	84	88	94	100
80 (ドア材615mm)	70	70	72	72	76	80	86

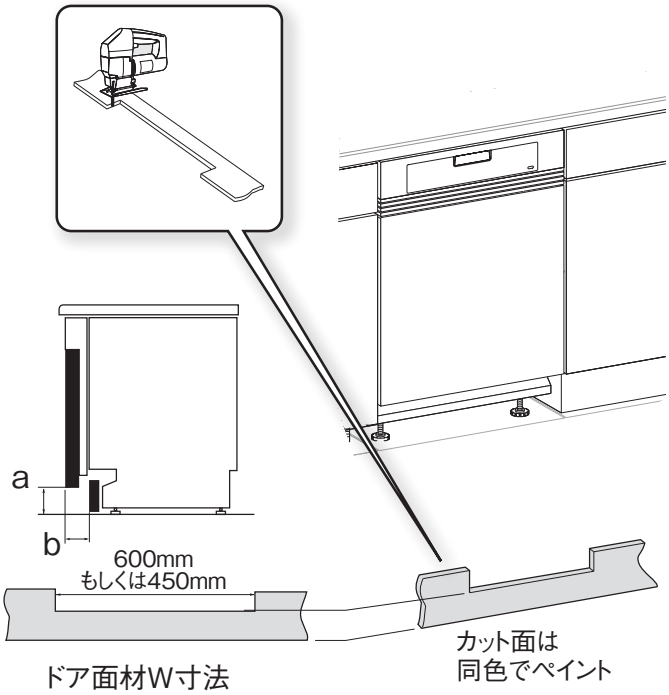
本体高さ=820mm　　b mm

a mm	40	50	60	70	80	90	100
160(ドア材545mm)	138	138	140	/	/	/	/
150(ドア材555mm)	130	132	132	138	/	/	/
140(ドア材565mm)	118	118	122	126	132	/	/
130(ドア材575mm)	116	116	118	118	124	128	/
120(ドア材585mm)	103	108	110	112	118	124	132
110(ドア材595mm)	93	98	100	102	106	110	116
100(ドア材605mm)	88	88	88	90	94	96	104
90 (ドア材615mm)	82	82	82	84	86	90	96

本体高さ=860mm　　b mm

a mm	40	50	60	70	80	90	100
180 (ドア材555mm)	162	164	166	172	/	/	/
170 (ドア材565mm)	154	156	160	162	170	/	/
160 (ドア材575mm)	146	148	150	154	160	166	/
150 (ドア材585mm)	136	136	138	146	152	160	176
140 (ドア材595mm)	128	130	132	134	138	144	150
130 (ドア材605mm)	120	120	122	124	128	132	140
120 (ドア材615mm)	108	112	114	116	120	124	132
110 (ドア材625mm)	100	100	102	104	108	110	118
100 (ドア材635mm)	90	90	90	94	96	100	106
90 (ドア材645mm)	80	80	80	84	86	90	96

例　本体高さ = 815mm
巾木高さ = 70mm（蹴込み深さ 45mm）の場合
ドア面材高さ = 620mm になります。



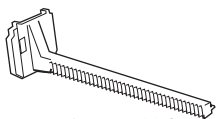
●ドア面材がぶつからないよう、巾木をカットします。
巾木の高さや蹴込み深さによってカットの寸法は異なります。

●巾木のカットは、左の表の巾木の高さ(a)と張り出し寸法(b)の関係を参考に、寸法出ししてください。

注1:上記の表は、フィラーを抜いた寸法です。フィラー使用の場合は、本体高さ、または、巾木高さが変わりますのでご注意ください。
注2:オールドア (フルフェイス) タイプのドア高さは、上記寸法に+110mmになります。

付属の巾木(プリンスパネル)を取り付ける場合

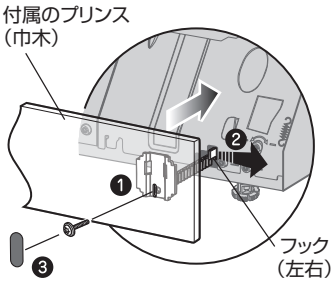
●ドア面材がぶつからないよう巾木をカットします。巾木の高さや蹴込み深さによってカットの寸法は異なります。


プリンスパネル取付金具　×2

プリンスパネル
固定用ビス×2

目隠しキャップ
(黒)
×2

少しずつ適度な位置まで、クリックしながら押し込みます。



①付属のプリンス(巾木)を使用する場合は、同梱のプリンス取付金具を使用して、図のように本体前面に取り付けます。

②取付金具は、本体側フックを外側に押し、適当な深さに押し込みながら位置を決めます。

③目隠しキャップをはめ込んで、ビス穴を隠して完了です。

5 食器洗い機　設置後のチェックリスト

●あらかじめ電源が入ること、給水（給湯）の開栓を確認してください。

お客様名	設置日
機　種	製造番号

点　検	確 認 項 目	判　定
本体の設置	本体が水平でがたつきがないか。	
本体の固定	側板もしくは天板へしっかり固定してあるか。	
ドアの調整・開閉	ドアスプリングでドアの開閉強度調整をしたか。 ドア開閉のとき、他機器や家具への障害はないか。	
給水接続部	水漏れはないか。ホースの折れ、曲りはないか。	
排水接続部	外れないように固定してあるか。ホースの折れ、曲りはないか。	
フィルター	ゴミ詰まりはないか。ハンドルを時計回りに回してロックしたか。	
電　源	200V 15/20A　専用回線か。アース線は接続したか。	
試運転	試運転は異常なく終了したか。	

試運転項目	1 電源を入れる	→ Start/Stopランプが点滅
	2 プログラムを設定する	→ Start/Stopランプが点滅
	3 Quich Wash 40+Turbo もしくは Pre wash を選択	
	4 Start/Stop ボタンを押す	→ Start/Stopランプが点灯
	5 排水ポンプが回る	→ ポンプ音確認
	6 給水される	→ 庫内に水が溜まる
	7 洗浄ポンプが回る	→ シャワー噴射しながら スプレーノズルが回転
試運転終了	1　Start/Stopボタンを長押しして、プログラムをキャンセルする。 2　庫内の水を抜くため、再度プログラムをスタートさせ、排水ポンプを回す。 3　庫内の水を抜くため、Start/Stopボタンを長押しして、再度プログラムをキャンセルする。	

※本機の通電、通水ができず試運転が行えない場合は、後に通電通水が可能になった時に必ず試運転を行ってください。

確認者 _____

Miele

ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス
電話(03)5740-0030(代) FAX(03)5740-0035

お問い合わせは…
ミーレ・お客様コンタクトセンター
0120-310-647(通話料無料)
■受付時間　月～金 9：00～17：30(土日・祝祭日休業)

G4000/5000-tec-130304